

2026年度(令和8年度)学校評価自己評価表

鷹取中学校区	校番 11	福山市立光小学校
最終更新日		2026年(令和8年)4月1日

I 福山市

めざす姿	すべての子どもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現
------	---------------------------------

II 中学校区

<p>前年度学校運営協議会(学校関係者評価)の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域を大切に思う児童生徒を育成してほしい。 コミュニティ・スクールを導入して地域と学校が交流することができるようになってきた。さらに学校のよいことの発信を積極的にしてほしい。 児童・生徒と共に会議をし、地域課題を考えていくことを継続する。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力はおおむねついているが、思考力に課題がある。 人間関係づくりが苦手な子どもが増えてきている。 長欠や不登校の子どもが一定数いて取組をしているが改善が難しい。 コミュニティ・スクールでの活動を通してあいさつができる児童生徒が増えてきた。 	<p>育成する資質・能力</p> <p>めざす子ども像(義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>知識・技能 課題発見・解決力 主体性</p> <p>気づき 考え 行動する 子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが「わかる・できる」と思える教育活動の推進 地域活動に自ら参加し、地域と共に課題解決できる児童・生徒の育成 教職員の笑顔・元気・やる気
---	---	--	---

III 自校

学校教育目標
自ら学ぶ光っ子の育成

<p>現状</p> <p><児童></p> <p>○「考えることが楽しい」88.6%、算数科テストの知識・技能は85.4点と基礎学力はおおむね定着している。「体を動かすことが好き」は93.2%と運動に興味を示す児童が多い。</p> <p>○縦割り総合や地域とのつながりのあるふるさと学習を仕組み、「地域が好き」は91.0%と地域を愛する心が育ってきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●算数科テストの思考の平均は78.1点と思考力に課題がある。 ●学校や教室に位置付けない児童が一定数おり、自己肯定感の向上が課題である。また、気持ちのよい挨拶をしている児童は81.5%と課題である。 <p><授業></p> <p>○幼保小連携教育にかかわる授業授業改善に取り組み、教科横断的な単元開発を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各教科の本質に迫りきれておらず、活用できる学力になっていない。
--

育成する資質・能力	知識・技能	課題発見・解決力	主体性
めざす子ども像	<ul style="list-style-type: none"> 課題の解決に必要な知識及び技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な問題における課題を発見し、よりよい解決方法を考え実行し、次の学習につなげることができる。 相手の気持ちを理解しながら意見を伝え合うことを通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の個性や興味・関心等に基づいて、自分の意思をしっかりともち、よりよい学校生活になるよう行動することができる。 自分のよさや個性を知り、自分の言動が相手や他者へ影響を及ぼすことを理解し、行動することができる。

研究	テーマ	他者・自己との「対話」を通して、考えを深める児童の育成
	内容等	<ul style="list-style-type: none"> グループトーク(ワーク)の時間をもつことで、他者の考えを知り、自分の考えを深めることができるであろう。 振り返りを充実させることで、本時の理解と次時への意欲につながるであろう。

めざす授業の姿	<p>児童の「問い」を活かす授業 思考を深め、広げる授業 ふりかえりが充実した授業 学びがつながる授業</p>	<p>課題を解決しようとする子どもの姿 対話が弾む子どもの姿 自分や友のがんばりに気づく子どもの姿 もっとやりたいと思う子どもの姿</p>
---------	---	---

福山市立光小学校

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	プロセス 評価	達成 評価	総合 評価
3	子どもたちが「わかる・できる」と思える教育活動の推進	★	見直し	<ul style="list-style-type: none"> 「わかる・できる」が実感できる授業づくりを推進する。 個に応じた細やかな支援や自信を持たせる取組を工夫する。 生活習慣の改善と家庭学習の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> つきたい力を明確にし、授業づくりポートフォリオに基づいた授業改善を進める。 全校で計算検定・漢字検定を実施する。 肯定的評価と表彰の機会を設ける。 体育の授業の工夫、体育的行事、学級遊びを通して、運動への関心を高める。 家庭と連携し、ゲーム、スマホの時間について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 「考えることが楽しい」85%以上 学期末テスト算数知識・技能85点、思考77点以上 「自分のよさが認められている」83%以上 「体を動かすことが好き。」90%以上 家庭学習の習慣化とゲームの時間を減らす。 								
2	地域課題に気づき、地域と共に課題解決できる児童・生徒の育成		見直し	<ul style="list-style-type: none"> 住み続けられるまちづくりを目指し、地域の課題を発見し、解決に向けた取組を進める。 CSの取組を進め、地域の一員としての自覚を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> CSの取組と運動させ、挨拶運動や地域を素材にした単元開発を行う。 縦割り総合(光タイム)を通して地域との関わりを深める。 「相手に聞こえる声」を意識して挨拶を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域が好き」90%以上 「相手に聞こえる声で気持ちのよいあいさつをしている」83%以上 								
2	教職員の笑顔・元気		見直し	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革を推進し、教育の質を高める。 自分の強みを生かした取組を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務の見直しや効率化等の業務改善を進める。 個々の強みを生かしたり、求めるテーマを設定したりしてニーズ研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間在校等時間を月45時間、年360時間以内。市平均以上。 教師アンケート「仕事にやりがいを感じている」93%以上 								

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。